

インフォシス、Everest Group の PEAK Matrix® IT Service Provider of the Year™

2022 アワードで第 2 位にランクイン、「6 つ星」リーダーの高い評価を獲得

6 種類のサービスセグメントで大幅な改善を見せ、2021 年の総合ランキング第 7 位から第 2 位へと躍進

バンガロール (インド) - 2022 年 4 月 6 日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーである [インフォシス](#) (NSE、BSE、NYSE: INFY) は、本日、Everest Group の PEAK Matrix® IT Service Provider of the Year™ 2022 アワードで第 2 位にランクインしたことを発表しました。インフォシスは、卓越したサービス・デリバリーを一貫して維持しつつ、デジタル、データ、アナリティクス、クラウドおよびインフラストラクチャ、金融サービス、ヘルスケア、ライフサイエンス、およびエンタープライズ・プラットフォームの各セグメントで大幅な改善を果たしたことが評価されました。

今回で第 6 版となる PEAK Matrix® Service Providers of the Year アワードで、Everest Group は 2021 年に公開された 26 PEAK Matrix® IT サービス評価の対象となった 141 社のサービスプロバイダーについて、その一貫性を評価しました。セグメントを超えて一貫して最上位のパフォーマンスを見せたインフォシスは、2021 年の総合ランク第 7 位から第 2 位へと目覚ましい上昇を遂げ、クラウド、データ、AI におよぶ幅広い構築能力、および [Infosys Cobalt](#) のシームレスで期限のあるエンタープライズ変革プロジェクトの実行が可能にする、モダナイゼーション能力を証明しました。インフォシスは、進化と IT 要件や市場の需要の変化への効果的な対応に、自社の事業戦略を合わせてきました。今回の受賞は、強力なグローバルプレゼンス、多様性のある変革リソース、そして広範なグローバルパートナーエコシステムを活用するインフォシスの能力をさらに強く印象付けています。このエコシステムは、セグメント固有の IT サービスを効率的でアジャイルな方法で提供するものです。

インフォシスがリーダーに選出された PEAK Matrix® 評価は次のとおりです。

- 高度アナリティクスおよびインサイト (AA&I) サービス

- アナリティクスおよび AI サービススペシャリスト
- 銀行アプリケーションおよびデジタル・サービス: グローバル、欧州
- アプリケーション変革サービス
- クラウドサービス: 欧州、北米
- データおよびアナリティクス (D&A) サービス
- エンタープライズ・ブロックチェーン・サービス
- エンタープライズ品質保証サービス
- Finastra IT サービス
- ヘルスケア・アナリティクス・サービス
- 保険プラットフォーム IT サービス
- ヘルスケアソリューションでのインテリジェント自動化
- モノのインターネット (IoT) サプライチェーン・ソリューション
- IT マネージドセキュリティサービス (MSS)
- Microsoft Dynamics 365 サービス
- ネットワーク変革およびマネージドサービス
- BFS でのプラットフォーム IT サービス
- SAP S/4HANA サービス
- ソフトウェア定義広域ネットワーク (SD-WAN) サービス
- Temenos IT サービス
- Veeva サービス

Everest Group のパートナーの Chirajeet Sengupta 氏は次のように述べています。「Service Provider of The Year アワードは、当社のエンタープライズ IT サービス対象範囲全般のサービスプロバイダーをまとめたものです。Infosysの今年の Service Provider of the Year アワードにおける成果は、強力なパフォーマンスと、2021 年に当社が実施した PEAT Matrix 評価からの前年比の上昇余力が印象的であったことの両方によるものです。」



インフォシスの社長 Ravi Kumar S は次のように述べています。「当社のランキングは、Everest Group によるスターパフォーマーの評価と併せ、当社独自のソリューション、グローバルイノベーションハブ、そしてクリエイティブな人材プールを活用して IT サービスのランドスケープを変革し、幅広く各種産業パーティカルにおいてビジネスの新しい意思決定者の集団に対応するという当社のコミットメントを強化するものです。また今回の評価は、お客様のビジネスの価値を広範な IT サービス能力を通じて最大化するクラウドサービススイートの Infosys Cobalt に対して、当社が継続的に行っている投資の証でもあります。品質とプロフェッショナル主義に関して一層尽力したいという意思を持ちながら、当社は継続してインサイトを提供し、また最上級の、将来に備える IT サービスを、世界中で各種産業セグメント向けに、競争力の高い価格でご契約いただけるオプションを提供してまいります。」

Everest Group PEAK Matrix® IT Service Provider of the Year™ 2022 年版レポートのカスタマイズ・バージョンは、<https://www2.everestgrp.com/reportaction/EGR-2022-0-SPR-4989/Toc> でご覧になれます。

インフォシスについて:

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーとして、世界 50 개국でお客様のデジタル変革を実現しています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステム・業務管理の実績に基づき、専門家としてお客様のデジタル・ジャーニーを推進します。変革の優先順位の判断において、当社では企業が AI を導入したコアを利用できるようにしています。また、ビジネスにアジャイル手法とデジタル化を大規模に導入することで、かつてない高いレベルのパフォーマンスと顧客満足度を提供いたします。当社の常に学ぶ姿勢は、デジタル・スキル、専門知識、および当社のイノベーション・エコシステムから創出されるアイデアの確立と移転を通じて、お客様の継続的改善を実現しています。

インフォシス (NSE、BSE、NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、www.infosys.com をご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項の適用を意図した当社の将来的な成長と今後の配当、財務的期待、当社の従業員、顧客およびステークホルダーへの COVID-19 の影響を管理するための計画を予測するものであり、そこには多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクおよび不確定要素としては、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素、その拡散を抑制するための政府およびその他の対策の効果、インド、米国、世界のその他の国々の景気低迷や不況に関連するリスク、政治、ビジネスおよび経済環境の変化、収益や外国為替相場の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、



業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。将来の営業業績に影響すると考えられるその他リスクについては、2020年会計年度年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.govでご覧いただけます。当社は、米国証券取引委員会および株主への報告書内の情報を含め、書面または口頭で将来の展望を随時発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ先

インフォシスリミテッド日本支店

安藤 mktg_jp@infosys.com